

教科(科目)	福祉（こころとからだの理解）	実施学年 (履修規定)	第1学年 必修
単位数	2	教科書	
		副教材	最新介護福祉全書12 こころとからだのしくみ
科目の目標	自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得させ、介護実践に適切に活用できる能力を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護のため」という視点のもと理論と実践の融合を目指す。</li> <li>・介護実践に必要な知識という観点からからだのしくみについて知識を養う。</li> </ul>		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	オリエンテーション  「身じたくを整える」に関連したこころとからだのしくみ	こころとからだの理解で学ぶ事柄 授業の進め方 I 人間にとっての身じたくの持つ意味 II 身じたくに関する基礎知識 A 顔面の筋・骨の構造と機能 B 感覚器で外界をとらえるしくみ	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・学習すべき内容のイメージができプリントや資料が整理できる。 ・身じたくに関連したからだのしくみの基本的内容が理解できる。
5		C物を食べる口腔のしくみ D指先を保護し、物をつかむ爪のしくみ III身仕度に関連したこころとからだのしくみ IV機能低下・障害が及ぼす身じたくへの影響 ・視覚機能 ・運動機能 ・口腔の清潔に関する機能 V異常発見のために注意すべき「変化」	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・身じたくに関連したこころのしくみの基本的内容が理解できる。 ・機能低下の原因とその影響を理解し、異常発見のため介助時の観察点が述べられる
中間考査				
6	「活動」に関連したこころとからだのしくみ	I活動に関する基礎知識 身体の成り立ちの理解 身体の形と臓器の場の理解 A骨・関節・筋・神経の働きとしくみ II活動と生活動作 ・活動の目的と心理的意味 ・姿勢・ボディメカニクス	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・人の活動に関する基礎知識を理解する。 ・機能低下の原因とその影響を理解し、異常発見のため介助時の観察点が述べられる。
7		III活動の低下・障害が及ぼすこころとからだへの理解 V異常発見のために注意すべき「変化」 ・日常生活動作	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	
期末考査				
8	夏季休業			
9	「食事」に関連したこころとからだのしくみ	I食事に関する基礎知識 ・栄養摂取、水分摂取 II食事に関連したこころとからだのしくみ ・食事 ・消化と吸収 内臓機能と自律神経系の働き III機能低下や障害が及ぼす食事への影響 A食欲の低下 B視覚機能の低下・障害 C運動機能の低下・障害 D咀嚼・嚥下機能の低下・障害 E消化・吸収機能の低下・障害	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・食事に関する基礎知識が理解できる。 ・消化と吸収について理解し説明できる。 ・機能低下の原因とその影響を理解し、異常発見のため介助時の観察点が述べられる。

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 0		IV安全な食事のための留意点 A窒息の予防と窒息時の対応 B誤嚥の予防と誤嚥時の対応 C脱水の予防と脱水時の対応		・安全な食事のための留意点を説明できる。
中間考査				
1 1	「排泄」に関連したところとからだのしくみ	I 排泄に関連する基礎知識 A便 B尿 II 排泄の意義としくみ ・排泄行動 ・排便のしくみ ・排尿のしくみ III 機能低下・障害が及ぼす排泄への影響 A排泄行動が困難になる機能低下・障害 B排泄のしくみが乱れる機能低下・障害 IV 異常発見のために注意すべき「変化」	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・便、尿の生成や排泄に関する基礎知識を理解している。  ・排泄の意義としくみについて説明できる。 ・排泄行動や排泄の仕組みに機能低下・障害が起こった時利用者の状況がイメージできる。・異常発見のための変化が観察できる。
1 2	「入浴・清潔保持」に関連したところとからだのしくみ	I 入浴・清潔保持に関連する基礎知識 A 人間を守る皮膚のしくみ 外界の変化に対応し、調整・修復・再生するしくみ B 頭部の皮膚を保護する頭髪のしくみ C 皮膚の汚れが及ぼす影響とその対策 D 発汗のしくみと汗が及ぼす影響 E 陰部の清潔と尿路感染の防止 F 毛髪の清潔と汚れが及ぼす影響	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・入浴、清潔保持にかかわるところとからだのしくみについて理解している。 ・心身機能の低下、障害が入浴や清潔保持に与える影響についてイメージでき、その対応策を考えることができる。
期末考査				
1		II 入浴・清潔保持の実際 III 機能低下・障害が及ぼす入浴・清潔保持への影響 IV 異常発見のために注意すべき「変化」	授業観察 プリント確認 確認テスト	
2	「生きている」しくみの理解	I 生命活動を調節するしくみ A恒常性の維持に関するしくみ B内臓機能と自律神経系の働き C呼吸と循環のしくみ D外界の刺激と調和を図るためのしくみ	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・恒常性のしくみについて理解し説明できる。 ・各機能やしくみについて基本的な内容を理解し、専門用語で答えることができる。
3	こころのしくみの理解	I 脳のつくりと働きの理解 II こころと脳のつながり III 人間の行動を引き起こすこころのしくみ IV 社会的人間としてのこころのしくみ	授業観察 プリント確認 ファイル確認 確認テスト	・こころのしくみについて基本的な内容を理解し、専門用語で答えることができる
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

- ①関心・意欲・態度 人間に対して介護活動を行う上で積極的に理解しよう関わろうとする態度を身に付けている。
- ②思考・判断 こころとからだのしくみにおける基礎的・基本的な知識・科学的根拠をもとに利用者に必要とされる介護内容を考え、課題を把握し明確化する能力を身につけている。
- ③技能・表現 こころとからだのしくみにおける基礎的・基本的な知識・科学的根拠をもとに利用者に必要とされる介護内容を考え、課題を把握し明確に表現する。またその表現方法は、同じ専門職者と共通理解を図ることができるものである。
- ④知識・技能 こころとからだのしくみに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、介護におけるこころとからだのしくみの学習の目的や役割を理解している。

「こころとからだの理解」の総合評価における各観点の割合

- |            |        |         |        |
|------------|--------|---------|--------|
| ① 関心・意欲・態度 | 20 %程度 | ② 思考・判断 | 25 %程度 |
| ③ 技能・表現    | 25 %程度 | ④ 知識・技能 | 30 %程度 |